

製品名: UCP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87643**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:33 kDa; Observed MW:33 kDa

抗原情報

遺伝子名	UCP1
別名	Ucp; Slc25a7
遺伝子ID	22227, 24860
SwissProt ID	P12242, P04633
免疫原	マウス UCP1 の合成ペプチド

背景

長鎖脂肪酸結合活性、酸化リン酸化脱共役活性、プリンリボヌクレオチド結合活性を有する。寒冷に対する細胞応答、食事誘発性熱

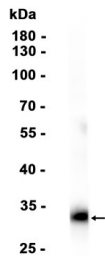
産生、寒冷誘発性熱産生の正の調節など、様々なプロセスに関与する。褐色脂肪細胞の分化および RNA ポリメラーゼ II による転写調節の上流または内部で作用する。ミトコンドリア内膜に局在する。脂肪組織、副腎、顎下腺、精巣、胸腺など、様々な組織で発現する。この遺伝子のヒト相同遺伝子は、高血圧および 2 型糖尿病に関与することが示唆されている。ヒト UCP1 (脱共役タンパク質 1) と相同性を有する。[Alliance of Genome Resources 提供、2022 年 4 月]

研究分野

-

画像データ

Mouse brown adipose



UCP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:5000 で使用して、マウス脳脂肪組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。